



まちづくり団体の取り組み  
～こんなことやってます～

自ら考え自ら行動まずはチャレンジ

## 「夢蒼塾」(高萩市)



「夢蒼塾」  
橋本義隆塾長

### はじめに

東京から約 150km 茨城県の北東部に位置する高萩市は東は太平洋に面し、西は多賀山地が連なり、その間を花貫川と関根川が流れて渓谷をつくっています。

石炭産業のまちとして、また、古くから続いてきた木材や馬の産地として経済の発展を見せましたが、石炭産業の衰退とともに減少を続けた人口は、工業団地の造成や市営住宅の建設など職住に関する施策を積極的に展開したことにより一時は増加に転じたものの、ここ数年停滞が続いています。

駅を囲む中心市街地は商店や住宅が建ち並び活気ある地域を形成してきましたが、郊外型の大規模小売店の相次ぐ進出に伴う影響などによる空洞化が大きな課題となっています。

こうした中で、「夢蒼塾」は高萩を愛する地元の人たちが「自ら考え自ら行動するひとづくり」をテーマに地域の特性を生かしたまちづくりに向けて様々な活動しています。

### 夢蒼塾って

平成 6 年、高萩市のふるさと創生事業をきっかけに市、駅前商店主、市内企業等のメンバーを中心に街の再生について話し合いを行い他地域のまちづくりを学ぶことから夢蒼塾の活動は始まりました。現在は一般市民も参加し27名で講演会やイベントの企画をはじめまちづくりに関する様々なボランティア活動を通し高萩の魅力を市内外に紹介しています。また、夢蒼塾の全体事業に加えわがまち再発見グループ、ホテルの里推進グループを編成し多彩な事業を展開して住民自らによるまちづくり意識の高揚を図っています。

### わがまち再発見グループ

このグループは高萩のまちを今一度見直し、良い所はさらにPRし、悪い所は改善していけるよう歩いて得た情報の活用を中心に活動しています。

普段歩いても気付かないまちや道の様子を、自分たちの目で確認・把握するため「まちウォッチング」を実施し、これまで2冊の「まちウォッチングレポート」としてまとめられ配布されています。一つ目は駅付近の店舗等取壊しにより増えてきた駐車場に着目し、高萩の市街地の変遷を地図に表して、市街地空洞化の現状をレポート、2つ目は、観光資源の一つである市内松岡地区の史跡を中心に観光スポットを線で結んだまちの魅力再発見ルートをレポートしています。

また、ゲーム感覚でより多くの人にまちの再発見を体験してもらうため、塾ではまちウォッチングで得た情報を基に独自のコースを作成し、市民参加の「わがまち再発見ウォークラリー」を開催しています。



(わがまち再発見ウォークラリー)



(H14 まちづくり講演会)



## ホタルの里推進グループ

ホタルは自然環境に敏感な生き物で、その生息は豊かな自然の象徴と考えています。以前はいたる所でホタルを見かけましたが、自然豊かな高萩のまちでさえホタルは姿を消しつつあります。塾では、幻想的なホタルの光をとおして高萩の自然のすばらしさを多くの人に再認識してもらおうと、これまでホタルの幼虫放流活動やホタルに関する講演会、ホタルの観察会を実施してきました。特に6月(ゲンジボタル)、7~8月(ハイケボタル)に実施している観察会には毎回多くの家族連れが参加し、たくさん飛びまわるホタルにあちらこちらで歓声があがります。

昨年、塾生が市内を歩いて作成した「ホタル・マップ」は、ホタルが見られる場所をわかりやすく紹介したもので、各方面で好評です。



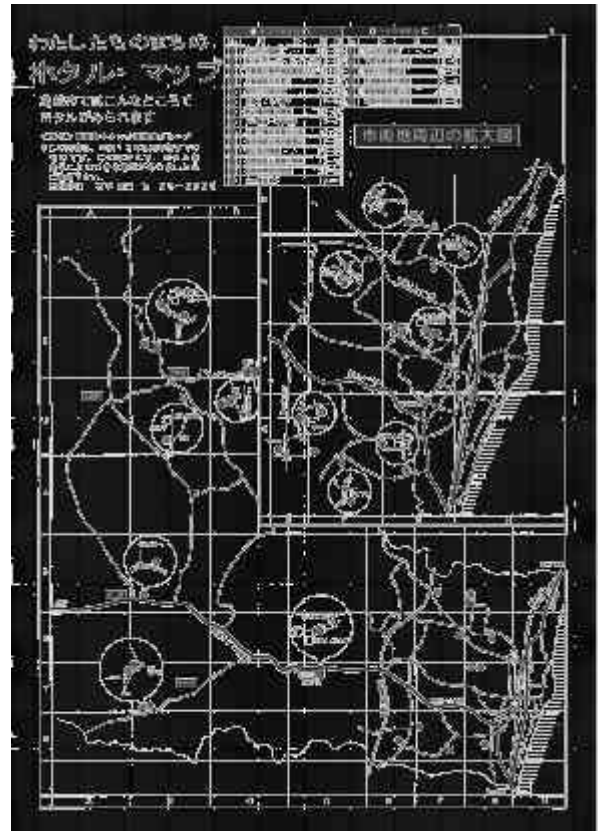
(ホタル観察会)

## まちづくりへの積極的参加と啓発活動

塾では駅前通りの植栽の植え替えやポケットパークの整備などのまちづくりに関するボランティア活動に積極的に参加しています。また、活動の活性化と啓発を目的に外部との交流も大切にしています。まちづくりに関する講演会は外部から講師を招き高萩再生のヒントを得るべく毎年継続的に開催しています。本年度は長野県小布施町「まちいかし」の中心となった市村次夫氏を招きまちづくり講演会「気楽にまちづくり(小布施町の事例)」を開催します(10月4日)。

その他、例えば、高萩ページェントクラブの主催している年末年始の「光のページェント」や七夕かざりなど他団体の活動にも積極的に参加しています。市内まちづくり団体との連携を深めまちづくりへ意識・情報の共有を図るとも大切なことと考えています。

住民のまちづくりへの参加を呼びかけより多くの人たちと情報を共有するため会報誌を市内全戸に配布するなど広報活動も積極的に進めています。



(好評のホタル・マップ)

## 住民自らによる

### まちづくりの発展に向けて

まちづくりの主役はあくまでも地域住民であり、塾はそのきっかけ作りや手助けが出来ればと考えています。例えば、松岡地区の城跡付近は、市がアプローチ広場やお屋敷通りを整備しましたが、竜子山城址本体は荒れたままとなっています。いろいろな団体に声をかけ、地域の人が手をつけられる状態へ整備することにより、地域の人が自ら進んで手入れをしたくなるような環境をつくる。このような地域の人々の自発的な活動を誘発するような活動を続けて行きたいと考えています。

「市内のまちづくりの会議に参加する機会がありますが、とても良い意見が活発に出るもの、これを集約し行動に出ることは難しいのが現状です。良くて悪くても一歩踏み出すこと、トライすることが大切です。そのための旗振り役として今後も塾の活動を進め高萩のよさを活かしたまちづくりの手助けをして行きたい。」と塾長の橋本義隆さんは話してくれました。

(編集委員 M.N.&T.A.)

問い合わせ先

夢蒼塾 塾長 橋本義隆  
事務局 深津英世

Tel: 0293-23-6437